

カリキュラム

機構施設名： 静岡職業能力開発促進センター
 実施機関名： 株式会社 東京ナレッジプラン

26-22-12-112-074

D. 情報発信	112 相手に伝わるプレゼン資料作成
---------	--------------------

コースのねらい	プレゼンテーションソフトを活用し、相手に伝えたい内容をよりわかりやすく伝えるためのプレゼン資料作成方法を習得する。
---------	---

講義内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)	日 程	
				月 日	時刻
1	プレゼンテーションソフトの活用	(1) プレゼンテーションソフトの概要、特徴等 プレゼンテーションソフトの使用目的と概要説明、初期操作のソフト起動～入力準備について理解する。	1.5	令和8年 8月27日(木)	9:30～16:30 屋休憩 11:45～12:45
		(2) 図表の活用 プレゼンテーションソフトの基本操作説明、(文字入力～図表作成～写真挿入)を習得する。			
		【プレゼンテーションソフトを起動】 ソフトの起動から文字入力、図形作成、保存、終了まで一連の基本操作を習得していただきます。			
		(3) ビジュアル化技法 写真や、図形、スマートアートなどの機能を知っていただき、文字での表現だけでなく、図表で表すことでの伝わりやすさを学習します。また、写真・図形を取り入れたときの注意点なども併せて解説します。			
2	目的に合わせたスライド作成	(1) スライドデザインとは テンプレートの活用、テーマの検索などの機能紹介を通して、効率よくプレゼン資料を作成する手法を学習していただきます。	1.5	令和8年 8月27日(木)	9:30～16:30 屋休憩 11:45～12:45
		【スライドデザイン】 レイアウト、色彩、図、グラフなど、伝わるデザインを習得していただきます。			
		(2) 文字のレイアウト、大きさ 会場よっての違いや、シチュエーションによる資料作成の違いについて解説します。また、使用するフォントについても実例を交えて解説し、触れていただき注意事項などを理解していただきます。			
		【実際に文字をレイアウト】 文字のレイアウトを行い伝わる文字を練習していただきます。			
		(3) 視覚効果を意識したデザイン 視覚効果とは何か、どの程度用いることで効果的かなど、実例を交え、より実践的なプレゼン資料を作成するための知識を習得していただきます。			
		【アニメーション効果を設定】 アニメーション効果の設定方法、発表内容の邪魔をしない設定を習得していただきます。			
3	資料提案時のポイント	(1) 各種プレゼンテーション技法 プレゼン資料(投影物)や、手元資料だけでなく、プレゼンを実施するうえでの、マナーや留意事項を理解していただき、より効果的なプレゼン発表ができるための知識を習得していただきます。	2.0	令和8年 8月27日(木)	9:30～16:30 屋休憩 11:45～12:45
		(2) ターゲットの明確化 「何を」「誰に」「何のために」この考えをもとに、どんなプレゼンを作成すべきか、どのようにプレゼンを実施すべきかを通して、ターゲットを明確にする重要性を習得していただきます。			
		(3) 内容の構成(序論・本論・結論) プレゼン構成確認シート作成、ストーリー作成シート作成を通して、「伝える相手」「伝えたい内容」「相手にどうなってほしいのか」を明確にするための手法を学習します。			
		(4) 相手に合わせた情報の調整 言葉・単語の精査(専門用語をどの程度使うべきかなど)を考慮したプレゼン資料を作成するという観点を持っていただき、より相手に伝わる資料作成を習得します。			
4	生成AIの活用	(1) 生成AIとは 生成AIの種類や社会での使われ方を紹介し、概要の理解を図ります。	1.0	令和8年 8月27日(木)	9:30～16:30 屋休憩 11:45～12:45
		(2) プレゼンテーションソフトでの活用シーン 生成AIを使って、文面を作成したり、プレゼン資料そのものの作成や、文章の校正や文字数の調整作業を効率化したり、挿入するイラストを生成するなどの活用可能性を解説します。			
		【生成AIを使った資料作成】 実際に生成AIを使った資料作成を練習していただきます。			
		(3) 守るべき倫理・安全性・透明性・責任等 社会での問題事例(著作権侵害、フェイク画像)などを紹介し、生成AIを使う際の注意点を学びます。			
			合計時間	6時間	

カリキュラム作成のポイント
 プレゼンテーションソフトの概要を説明し、各項目において演習を活用して理解してもらう。また、生成AIを活用することで効果的な資料作成も可能になるので、そうした面においても演習を活用しながら理解していただく。